

## 日本鉄鋼協会記事

### 日本鉄鋼協会春季大会

4月1日から4日までの4日間に亘り 東京において恒例の春季大会が開催され、第41回通常総会、第51回講演大会、特別講演会、懇親会、見学会の諸行事が盛大に行われた。その概況次の通りである。

**第41回通常総会** 4月1日午前11時、東京大学工学部2号館講堂において開催。先ず入理事開会を宣し、沢村会長の挨拶があり、次いで議事に入った。初めに理事、評議員の選挙が行われ、続いて河上理事の事業報告、俵理事の会計報告、石原監事の監査報告があり、後、正会員及び学生会員会費値上げの件、並びに定款変更の件が審議せられたが、何れも満場一致をもって原案通り可決せられた。(改正会費及び変更定款は別掲会告の通り) ついで理事、評議員の選挙結果報告並びに監事選任(2月17日評議員会にて選挙)報告があり、一旦休憩、その間別室において新理事会合の上、会長、副会長の互選を了し再開、会長に角野尙徳君、副会長に志村清次郎君が選任された旨報告があり、両君より就任の挨拶があつて議事を終つた。役員当選者次の通り(敬称略)

監事当選者 (2月17日評議員会にて選挙) 俵 信次(補欠)・西村吉太郎(改選)

理事当選者 芥川 武、浅田 譲、入 一二、岡村 武、河上益夫、西郷吉郎、志村清次郎、角野尙徳、田畑新太郎。

評議員当選者 小島新一、高石義雄、蜂谷義雄、山内二郎、(以上補欠)

浅輪三郎、網谷俊平、荒木 透、有光次郎、井村荒喜、井関 剛、石原善雄、岩井雄二郎、岩瀬慶三、石田四郎、石塚栄蔵、石原米太郎、石原寅次郎、内川 悟、小田原大造、大塚誠之、大原久之、大元 博、荻野 一、金森九郎、河田 重、木村幸次郎、菊田多利男、久保田豊、黒田泰造、越 達三、小平俊雄、小林佐三郎、佐野幸吉、寒川恒一郎、塩沢正一、園田一夫、田中国雄、田中徳松、高尾善一郎、武田修三、谷口光平、谷村 潤、富山英太郎、中山育雄、西山弥太郎、羽塚広道、平世将一、藤川一秋、藤村哲之、箕田貫一、宮代 彰、村上武次郎、森 竜郎、湯川正夫(以上改選)

続いて表彰式が挙行され、沢村会長より下記受賞者諸氏(敬称略)にそれぞれ表彰状並びに賞牌又は賞金を贈呈し、正午式を閉じた。

服部賞牌 遠藤勝治郎

同 賞金 太田隆美、黒田幸二、深堀佐市、山内 仁。

香村賞牌 高石義雄

同 賞金 安藤卓雄、木下恒雄、山口道夫

渡辺賞牌 山本信公

同 賞金 小山吉郎

俵 賞 沢 繁樹、沢村 宏、盛 利貞

**第51回講演大会** 4月1日から3日まで東京大学工学部第2号館において行われた。第1日午前9時10分、振鈴にて一同着席、沢村会長より開会の挨拶があり、後、4会場に分れて夫々講演に移つた。この度の大会は天候に恵まれず雨天続きにて、殊に1日は時ならぬ雪となり、真冬を思わせる寒さであつたに拘らず、参会者多数にて、狭き会場は聴講者堂外に溢れる許りの盛況であつた。第1日の講演15、第2日56、第3日54、3日午後5時予定の講演を終つた。

**特別講演会** 4月1日午後1時、工学部2号館講堂において、服部賞牌、香村賞牌、渡辺賞牌の各受賞者を講師とする特別講演会が開催され、次の諸講演があつた。講演は何れも1時間余りに亘り、各講師それぞれ平素の蘊蓄を傾けた有益なものであつて、聴講者一同に深き感銘を与えた。

○酸素と製鉄上の2、3の問題：服部賞牌受領者 八幡製鉄株式会社 八幡製鉄所技術研究所々長 遠藤勝治郎君

○大阪製鋼の圧延機について：香村賞牌受領者 大阪製鋼株式会社社長 高石 義雄君

○特殊鋳鋼ロールその他2、3の特殊鋼製品の問題について：

渡辺賞牌受領者 住友金属工業株式会社技師長兼東京支社技術部長 山本 信公君

**懇親会** 4月3日午後5時半 日本金属学会と本会共同にて、文京区学士会館において会員懇親会を開催した。参会者一同先ず庭前にて記念撮影を行い、次いで食堂に入り卓に就いた。本夕は恒例により、敬老の意をかねて特に両会の長老諸先輩を来賓として迎え、又表彰者諸氏を招待、一般の参加者を併せて出席者126名の多数に及んだ。先ず沢村本会々長より開会の挨拶があり、次いで桂舟三博士乾杯して開宴、食後井上匡四郎博士、伍堂卓雄氏、石原米太郎氏、金子恭輔博士等諸先輩の有益なお話があり、次に高石義雄氏、高橋昇氏より受賞者を代表してそれぞれ謝辞が述べられ、更に丹羽貴知蔵氏、増本量氏、三島徳七氏、小柴定雄氏等より興味あるテーブルスピーチが行われ、最後に石田金属学会副会長閉会の辞を述べて、午後8時20分和気霽々の裡に閉会した。当日賓客としてお招きした

先輩各位は次の通りであつた。(順序不同)

俵 国一氏(欠), 桂 弁三氏, 金子恭輔氏, 村上武次郎氏, 川上義弘氏, 井上匡四郎氏, 黒田泰造氏, 石原米太郎氏, 松下長久氏, 蒔田宗次氏(欠), 多田礼吉氏(欠), 青山新一氏, 松尾信太氏(欠), 浅田長平氏(欠), 佐堂卓雄氏, 斎藤三三氏

**見学会** 4月4日, 日本金属学会と本会共同で工場その他の見学会を行つた。この日は幸いにも連日の雨霽れて, 春光を仰ぐ好天気となつた。午前, 午後互に両会々員それぞれ 22 の工場, 研究所等に分れて見学し, 又夜は今回新しい試みとして実施した「夜の東京観光」に参加した。(詳細は6月号掲載見学記参照)

**31年度第2回理事会** 日時: 31—3—28(金) 会場: 協会々議室。出席者: 沢村会長, 蜂谷副会長, 芥川, 入, 河上各理事。石原, 志村各監事。田中前会長。佐藤, 俵, 西村, 横山, 吉崎各常務委員, 橋本事務局長

報告事項: I. 31年度第1回編集委員会の件(別掲の通り)。II. 役員異動の件。

協議事項: I. 表彰規程改正の件—前回決定した基本方針に基き作成した表彰規程及び事業規程案について審議一部修正の上決定。II. 春季大会に関する件—具体的諸項について審議。III. 事務局職員1名採用の件—更に候補者の推薦を待ち選考のこと。

**支部長会議** 日時: 31—4—1(日) 会場: 協会々議室。出席者: 前田北海道支部理事。佐藤東北支部理事。養田北陸支部理事, 錦織東海支部長, 森田関西支部理事。太田中国四国支部理事, 角野九州支部長, 沢村会長, 蜂谷副会長, 志村監事, 田中前会長, 西村常務委員, 橋本事務局長。

議事: I. 定款及び施行細則改正について。II. 各支部の事業状況報告。III. 本部支部間の連繫について。IV. 本会発展に関する意見。V. 会員増加運動について。VI. 第52回秋季講演大会について。(10月中旬広島市において開催に決定)

**31年度第1回編集委員会** 日時: 31—3—27(火) 会場: 丸ビル精養軒。出席者: 芥川理事外 18名。

報告事項: I. 31年3月号は3月5日完成発送済。II. 31年4月号は3月31日完成予定。

協議事項: I. 31年5月号原稿選定の件—選定済。II. 国際標準化機関(I.S.O.)からの学術文献の「書誌参照」に関する照会の件—検討の次回審議のこと。III. 日本学術会議第4期会員の選挙に関し周知方依頼の件—会誌に掲載のこと。

**名誉会員逝去** 本会名誉会員佐堂卓雄氏4月7日逝去。11日の葬儀に際し会長より弔詞を捧げた。

**東北支部** 評議員並びに理事の改選を行い, 評議員に増本量君外 29氏。理事に的場幸雄君外 9氏当選。理事互選の結果, 支部に的場幸雄君, 常務理事に佐藤知雄君が就任した。

**東海支部** 3月31日支部総会開催。役員改選を行い, 評議員 30名, 理事 10名を選任, 理事の互選により錦織清治君が支部長に就任した。

## 日本鉄鋼協会第41回通常総会における表彰者推薦理由書

(昭和31年4月1日)

### 服部賞牌受領者

八幡製鉄株式会社八幡製鉄所  
技術研究所長 遠藤勝治郎君

(鉄鋼製造に関する冶金学研究  
による鋼材の品質向上)

君は大正14年東北帝国大学理学部を卒業, 直に八幡製鉄所に入社, 研究所に勤務し, 昭和25年技術研究所長となり, 現在に至っている。

この間終始一貫鉄鋼製造に関する冶金学的研究を担当すると共に, 研究の指導と優秀な研究員の育成に努め, 鋼材の品質向上に貢献する幾多の研究発表を行わせている。また所内において研究所と現場作業部門, 管理部門との三者一体化, 緊密化を図ると共に対外的にはクレ-

ーム処理の迅速化, 鋼材使用面の研究を実施させるとともにウエル・テン厚板, ボンデ鋼板, 珪素鋼帯, 高級仕上鋼板の品質向上に研究成果を挙げ, また一方においては珪素鋼板, 焼入軌条, 厚板のセミギルド, 細粒鋼, 鉄鉱石の微量元素の分析法の確立とそれら元素の鋼材に及ぼす影響, ノデュラー用鉄の製造, 鋼塊の表面欠陥, 鋼材の非金属介在物等の研究は品質の向上発展に寄与した業績として著しいもので, 以上の外特に高炉による能率向上に関する研究, 非粘結炭による優良コークスの製造の研究, 転炉製鋼法の間工業化試験等の重要研究の指導には身をもつてこれに当り, その成果は極めて顕著で製鉄技術水準の向上に寄与した功績は極めて大きい。

よつて君は服部博士記念資金取扱規則第7条により服部賞牌を受ける資格十分であるものと認める。